

2015年4月1日

株式会社三菱ケミカルホールディングス 社長 越智 仁 新入社員歓迎式 メッセージ (要旨)

株式会社三菱ケミカルホールディングス

世界人口の激増と水・食料資源の枯渇、温暖化ガス排出の増加と深刻な気候変動、数百年後に迫ったエネルギー資源の枯渇、特に日本で先行している国民の高齢化と医療費の増加——これらの事実は、地球環境と人間社会のサステナビリティ(持続可能性)が、今や深刻な危機に陥っていることを示している。

一方、私たちを取り巻く事業環境に目を転ずれば、中国における過剰生産などを背景にグローバル競争はますます熾烈化し、新興国も強力なライバルとなる中、新製品の研究開発は容易ではなくなっている。また、日本企業はエネルギー・原料コストの高さという悪条件を強いられていることもあって、収益力は低迷している。

このような状況下、当社は、単なるモノづくりを脱却して、情報やサービスを組み合わせたコトづくりへ進化することによる価値・競争力の創出、すなわち「差異化」と、「Sustainability(環境・資源)・Health(健康)・Comfort(快適)」を判断基準とした「イノベーション」によって、厳しい企業間競争を勝ち抜くことを目指している。

そして当社は、確かな技術力をベースとしたイノベーションにより革新的な製品やサービスを創出し、多くの環境・社会課題を解決して、人類・社会・地球のサステナビリティ向上に貢献することで、結果としてしっかりと利益を上げる——という総合的な「KAITEKI 価値」を追求する、「THE KAITEKI COMPANY」を旗印に掲げている。

地球環境と人間社会の持続可能な発展のために「KAITEKI 価値」を提供し、自らも大きく成長することを使命とする「THE KAITEKI COMPANY」——私たち三菱ケミカルホールディングスグループの一員となった新入社員の皆さんには、次の3点を深く心に刻んでほしい。

- ① 「KAITEKI」は私たちの仕事そのものである。
- ② 世界の競争は厳しい。世界に目を向け、挑戦することなくしては、生きていけない。
- ③ 自分を磨くとともに、当社グループの豊富な技術・人材を徹底的に知り、大いに活用すること。

真にグローバルな「THE KAITEKI COMPANY」を構築するため、新入社員の皆さんの積極果敢なチャレンジに期待する。

(ご参考 入社歓迎式参加社員数 231名)

2015年4月1日

三菱化学株式会社 社長 石塚 博昭 2015年入社式挨拶(要旨)

三菱化学株式会社

【強靱な体力があり持続的に成長し続ける会社への転換】

世界経済は、現在、米国を中心に全体として堅調に推移しているが、同国の政策金利の行方、中国経済の成長率鈍化、中東などの政情不安、原油価格低下の負の影響等、見通しづらい状況にある。一方、こうした状況にあるものの、日本経済は、原油安、米国経済の好調や円安等により消費増税後の落ち込みから回復している。

その中であって、三菱化学グループは、損益面では原油価格の低下に伴う一部石化製品に多額の在庫評価損が発生するなど、外的要因に影響を受けやすい状態から脱していない。強靱な体力があり、持続的に成長し続ける会社へと変わるべく取り組んでいる。また、化学技術を核として「省エネルギー」「省資源」「環境負荷低減」を実現する会社でありたいと考える。

【プロとして、変化の原動力となれ】

新入社員の皆さんには、それぞれの持ち場で一流のプロになって貰いたい。メーカーはさまざまな部署と人が関わっており、どの機能が欠けても会社は強くはなれない。どの部署に配属されてもどの仕事にも全力で取り組んで、一流のプロとなってほしい。そして、各部署での変化の原動力となってほしい。化学産業は、「化学技術」をコアにして、社会に新しい価値を創出する産業であり、変わり続けることが宿命である。失敗を恐れずに挑戦し、会社に変化のきっかけを与え続けることが皆さんの役目である。

【グローバルに活躍する人材となれ】

グローバルとは多様性と考える。コミュニケーション手段としての高い語学力に加え、多様な文化や価値、思考等を理解し、認め、受け入れ、尊重する、そのうえで国内外のビジネスを進められる人になってほしいと考える。皆さんも、それぞれの個性を大いに発揮し、尊重し合いながら真にグローバルに活躍する人材へと成長してほしい。

【新入社員へのメッセージ ～人間万事 塞翁が馬～】

「人間万事 塞翁が馬」。

この故事は、一般的には「人生には幸せの状態と不幸な状態が交互に巡ってくるので、幸不幸は予測がつけられず、定まりがたい」という思想を示しているとされるが、私は、もっと深い解釈があると思う。それは「目の前で起きたことには、どんなに困難でつらくても目を背けず、考え抜いて諦めず、為すべきことを全力で進めれば、必ず道は開け局面を変えることができる。また一方で、物事が順調な時こそ、最悪の事態を想定してそれに備えなければならない」ということだ。これからの会社生活や人生の中でいろいろな困難に直面することと思うが、是非この「人間万事 塞翁が馬」を教訓として、タフネスとバイタリティを持って乗り切ってほしい。

以上

(ご参考：出席新入社員数 54名)

本件に関するお問合せ先 (株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話：03-6748-7140

2015年4月1日

三菱樹脂株式会社 社長 姥貝 卓美 2015年入社式挨拶（要旨）

入社おめでとうございます。経営メンバーそして社員全員を代表して、皆さんが三菱樹脂グループの仲間になられたことを心から歓迎します。当社は創業から69年目を迎えますが、2008年に4つの会社と1つの事業部門が統合し誕生した新しい三菱樹脂としては、この春が8年目のスタートとなります。

当社グループの企業理念は“恒により高い価値を創造し、より豊かな社会づくりに貢献する”としています。企業は、社会に製品・サービスを提供し、お客様に評価されることで、社会の中で存在しています。私たちの技術蓄積の中から、より高い価値を社会に提供することで初めて私たちの企業は存在し、成長していく事が出来るのです。私たちはお客様からも、グループの内外からも“信頼される会社”“親しみのある会社”であり続けたいと考えています。

私はどんな逆風にも耐えられるようなしなやかさと変化に対する耐性を備えた強固な会社を作りたいと考えています。当社グループの成長・発展のためには、他社に先駆けて新商品の創出・提案と事業会社としての的確な情報発信に向けて弛まぬ努力をしていかなければならず、国内の事業基盤を強固にし、海外市場への展開に注力していく必要があります。当社のポリエステルフィルムは世界5拠点で生産しています。複合建材は全世界に販売していますし、エンブラ加工製品で世界ニッチトップのクオドラント社は世界20か国で事業を展開するグローバル企業です。当社グループの一員になられた皆さんにも世界市場でグローバルプレーヤーの一人として活躍する人材になることを期待しています。

企業人としての心構えとスタンスについて、つまり皆さんに実行して頂きたいことについて話します。一つ目は“知識の集積のないところには知恵は生まれぬ”ことです。勉強を継続することから生まれる“吸収力の蓄積”が、皆さんの“考え方の基礎を形作る”ことに繋がります。基礎力の上に、戦略思考や発想が生まれ、国内でも、グローバルな世界でも判断力に磨きがかかってくるのです。二つ目は“前を向いて歩き続ける”ことです。これからの人生で、あるいは仕事の領域で乗り越えられそうにない位の厚い壁にぶつかることが必ずあります。眼前の事実から逃げず、前を見て課題を解決していく姿勢が大切です。難しい課題から逃げたり、放置せず正攻法で立ち向かっていく。沖からやってくる波にサーフボードを漕ぎ出していくような勇気と挑戦意欲を失わなければ必ずチャンスを見極められるようになります。正面から問題に立ち向かう姿には必ず社内で応援者が出てくると信じて、堂々とした会社人になって頂きたいと思います。

日本経済は、金融緩和・機動的財政支出が行われ、アベノミクスの第3の矢“成長戦略の実行”へしっかりとシフトしていくための大事な2015年を迎えています。原油安・円安は、日本経済全体にとってはフォローの風ですが、足元は合成樹脂製品の買い控えや原料価格の動向など変動要因があります。米国経済は堅調ですが、欧州の経済停滞、中国経済の不透明感、新興国経済への期待など競争環境は厳しく、そして変化していきます。歴史を振り返れば、厳しい事態の中で、人間は考え、新しい技術や製品、ビジネスモデルを生み出し、日本を、そして世界を変えてきたのです。皆さんは、企業人・社会人として、本日、スプリングボード（跳躍台）の上に立っています。皆さんの新鮮な感受性とチャレンジ精神を大いに発揮してください。皆さんの成長を大いに期待しています。

（ご参考：出席新入社員数 27名）

以上

本件に関するお問合せ先 (株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話：03-6748-7140

2015年4月1日

三菱レイヨン株式会社 社長 越智 仁 2015年入社式挨拶(要旨)

三菱レイヨン株式会社

今年、創業 82 年を迎える三菱レイヨンは、コア事業へ経営資源を集中するポートフォリオ・マネジメントを徹底し、MMA 系事業、炭素繊維・複合材料事業、アクア・ソリューション事業を拡大してきました。これにより2015年度の売上6000億円、営業利益300億円を目指しています。

世の中はVUCA(Volatility, Uncertainty, Complexity, Ambiguity)の様相を見せています。有望な市場があつという間にレッドオーシャンに変わるスピードは凄まじいものがあります。まさに先の見えない難しい時代に入ってきていると言わざるを得ません。

このような状況下、三菱ケミカルホールディングスの6事業会社の1社である当社は、事業の安定を図り、KAITEKI のコンセプトのもとさらに大きく成長していく必要があります。特に収益性に軸足を置き、今年度は次期中期経営計画 APTSIS 20 の戦略を策定することとなります。

厳しい競争に勝ち成長を加速する上で、我々は常に世界に目を向け、市場の動き、競合の動き、顧客ニーズの変化、技術革新を把握していなければなりません。皆さんは、これからの三菱レイヨンを背負って立つ新人です。頑張ってください。

そこで私から、秘策をいくつか伝授します。

1. 『百聞は一見にしかず』: 何でも見てまわることです。大学でも他社でも海外でもどうしても興味があるときは行って、見て、話を聞くといい。
2. 『胸襟を開く』: 恐れることなく思っていることは話し合っ理解を求める事。言わないと後で後悔することが多い。
3. 『聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥』: 疑問に思ったら先輩や友に積極的に尋ねること。これにより親密感も得られる。

若い人の特権は、積極的にチャレンジし失敗しても失うものがないということです。大いなる活躍を期待しています。

(ご参考 出席新入社員数 34名)

本件に関するお問い合わせ先 (株)三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 電話:03-6748-7140
--